

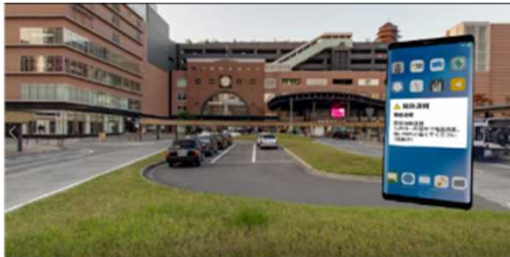
(別紙)おおいた防災VR 概要

【VRとは】「Virtual Reality (バーチャルリアリティ)」の略称で、「仮想現実」と訳される。VRを通して得られるリアルな体験が、あたかも現実であるかのように感じられる技術のことをいう。

【事業の目的】県民の防災意識の醸成及び避難行動の向上を目的とし、学校や地域等の防災訓練及び各種イベント等における活用を促進する。

【令和元年度制作コンテンツ】「地震編」、「津波編」、「土砂災害編」

地震編



津波編



土砂災害編



(別紙)おおいた防災VR 概要

【活用方法(例)】

○学校や地域等の防災訓練

- ・避難所等への避難訓練後に活用
- ・学校での防災教育(授業)で活用



○各種イベント等

- ・防災関連イベントでの活用
- ・地域のお祭りや、その他イベントで活用することにより、防災に興味を持ってもらう



○地震体験車(要予約)との併用

- ・乗車前の待ち時間等にVR映像を体験することにより、相乗効果を図る。

乗車定員4名



待ち時間

次の乗車4名



【ヘッドマウントディスプレイ(HMD)県機関配備台数】 姫島村



○13歳未満のHMDによる視聴は、保護者同意のうえで使用すること。
 ※目の成長に影響を及ぼす可能性があるため。
 ※7歳以下のHMD使用は禁止とする(モニターへの映写等により視聴)

【県準備HMD】

DPVR
Personal Cinema

計30台



DVD(ソフト)貸出

(別紙)おおいた防災VR 概要

活用

